

2022年8月10日

各位

会社名 株式会社ストリームメディアコーポレーション  
代表者名 代表取締役社長 金 東佑  
(証券コード 4772 東証グロース)  
問合せ先 取締役経営企画部門長 山田政彦  
(TEL.03-6809-6118)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年2月10日に公表いたしました通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2022年12月期通期（自2022年1月1日至2022年12月31日）連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,966	百万円 14	百万円 25	百万円 △41	円 銭 △0.35
今回発表予想 (B)	7,217	△316	△301	△162	△1.40
増減額 (B-A)	△749	△330	△326	△121	
増減率 (%)	△9.4	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	5,631	△648	△632	△286	△2.47

#### 2. 修正の理由

新型コロナウイルス感染予防対策の徹底とワクチン接種の進展等により、社会経済活動は正常化に近づきつつあります。当社におきましても Super Junior のコンサートを皮切りに、東方神起、MINHO (SHINee)、NCT127、BoA と計 32 公演のオフラインイベントを開催。7月には ONEW (SHINee) 日本初のソロツアー 8 公演、8月上旬には aespa が日本で初のショーケースを 4 公演開催し、8月下旬には東京ドームにて約 3 年ぶりとなる大型ライブイベント『SMTOWN LIVE 2022 TOKYO』を 3 公演決定している等、引き続きオフラインイベントの実施を予定して業績の回復に向け準備しております。

しかしながら、エンターテインメント事業におけるコンサート事業につきましては、コロナ禍の影響等による来日費用等の増加及びコンサート会場費の増加等の原価上昇に伴い、当該事業の収益が減少いたしました。また、当該事業に付随する MD 事業におきましても、

会場内外における接触感染や飛沫感染機会削減のためオンラインでの事前予約制としたことで収益が制限される等の影響を受けました。この結果、エンターテインメント事業におきましては、当初予想より売上高は約 65 百万円の減少、営業利益は約 99 百万円の減少となる見込みです。

ライツ&メディア事業における放送事業につきましては、契約者数減少が続く厳しい状況の中、解約防止と新規加入者獲得を図るべく昨年 10 月に動画配信サービス『KNTV+』をスタートいたしました。当初、下期における新規加入者の増加を見込んでおりましたが、期待通りの成果が出るまでには相当の時間を要する見込みであるため、計画を見直すこととなりました。『Beyond Live』につきましては、プラットフォームの内製化による構造改革により売上及び利益の大幅な増加を見込んでおりましたが、しかしながら、映像配信プラットフォームビジネスは競争が激化しており、今後、当社が『Beyond Live』をマーケットリーダーに押し上げるためには営業活動を強化し、莫大な費用と時間を投入する必要があることから、経営資源を既存事業に集中することで経営状況の改善及び発展を図るべきであるとの判断に至ったことから、当社は 2022 年 6 月 16 日付適時開示「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、連結子会社である株式会社 Beyond Live Corporation の当社保有株式 375,000 株のうち 325,000 株を DREAM MAKER ENTERTAINMENT LIMITED に譲渡いたしました。これにより株式会社 Beyond Live Corporation は当社の連結子会社ではなくなったことから、当初織り込んでいた売上及び利益が減少することとなりました。この結果、ライツ&メディア事業におきましては、当初予想より売上高は約 686 百万円の減少、営業利益は約 180 百万円の減少となる見込みです。

このような状況を踏まえ、通期連結業績予想を見直した結果、各利益とも前回発表を下回る見通しとなりました。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業績等の変化等により、上記予想値と異なる場合があります。

以上